

枚方公済病院 皮膚科の紹介

内科的な皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、蕁麻疹、白癬など）の診療に加え、

皮膚外科 **皮膚アレルギー** **創傷治癒（褥瘡を含む）**にも精通しています。

皮膚外科が注目されたため皮膚腫瘍の紹介患者さんが増えています。有難いことですが、皮膚アレルギー、創傷治癒も負けず劣らず頑張っていますので、薬疹や糖尿病性足病変、さらには水疱症疾患などの患者さんもお気軽にご紹介ください。

皮膚外科

年間400例前後の手術を、特に悪性腫瘍を取り扱っていることから「日本がん治療認定医機構がん治療認定医」とともに「センチネルリンパ節生検」の施設基準を取得しています。

巻爪の手術 ▶



▶ 食物依存性運動誘発アナフィラキシー患者のトレッドミル誘発試験

皮膚アレルギー

皮膚科専門医のみならずアレルギー指導医でもあることから、皮膚科は「アレルギー専門医教育施設」の認定と共に、「内服・点滴誘発試験の施設認定」も受けています。

創傷治癒

褥瘡ではガイドライン策定、DESIGN®作製に関わっており、院内では対策チームを担当しています。また、糖尿病性足病変、うっ滞性皮膚炎ではそれぞれ「下腿創傷処置管理料」、「静脈圧迫処理管理料」の施設基準を満たしています。

立花隆夫科長、趙良副医長、前田泰広副医長の常勤医3名体制で、皮膚疾患の専門家として科学的根拠に基づいた治療を心掛けていますので、痒いブツや盛り上がったデキモノなど、皮膚に気になる症状が現れたら気軽に受診してください。

平成 28 年に滋賀医科大学を卒業し、その後滋賀医大皮膚科に入局。現在は医師 10 年目です。東近江医療センターで1年間の勤務を挟んで令和7年まで滋賀医大で8年間勤務しました。令和7年に皮膚科専門医を取得し、皮膚外科を専門をしています。趣味はゴルフ、スノーボード、フットサルです。

昭和 56 年、関西医大を卒業後に京都大学皮膚科に入局。京都大学では、3年間の福井日赤勤務を挟んで、平成16年までの20年間在籍。また、その後は、天理よろづ相談所病院、滋賀医大、大阪日赤、星ヶ丘医療センターに勤務。趣味は、ドライブとスポーツ（ゴルフ、水泳）で、週2回ほど

平成 26 年にアイルランドの医学部を卒業後、シンガポールで医師として勤務し、その後帰国いたしました。現在は皮膚科医 5 年目です。京都大学皮膚科学教室に入局後、大学病院及び滋賀県内の関連病院で診療に従事してまいりました。患者さまに寄り添う医療を心がけております。日本語・英語で対応可能ですので、お気軽にご相談ください。趣味はテニスとサッカーです。

皮膚科副医長
前田 泰広 (まえだ やすひろ)

皮膚科科長
立花 隆夫 (たちばな たかお)

皮膚科副医長
趙 良 (ちよう りやんぐ)

地域医療連携室 (072)808-0010

(月火金 8:30-20:00、
水木 8:30-17:15、土 9:00-13:00)

夜間休日のご連絡 ▶▶▶ 病院代表 (072)858-8233